

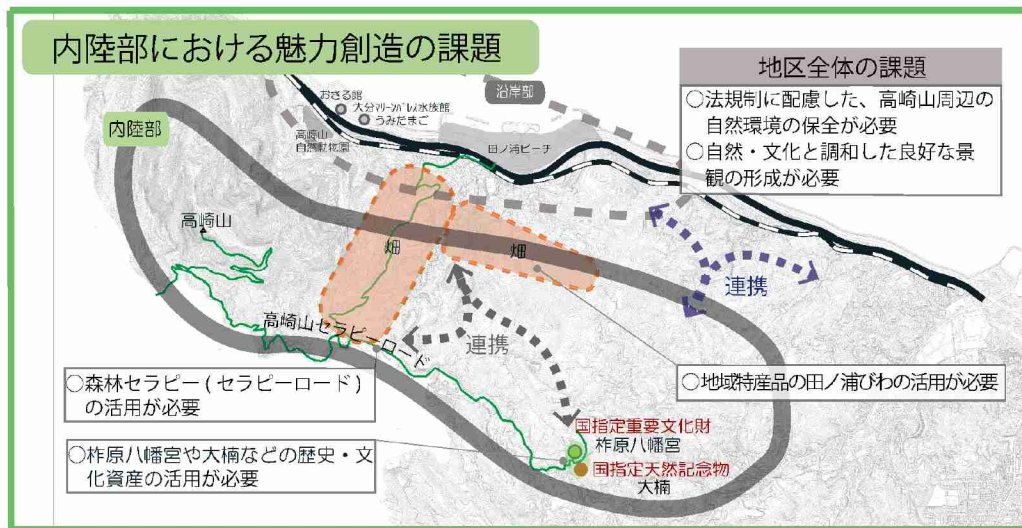
4 各個別計画を具体化する上での課題の整理

前章で整理した地区の現況を踏まえ、西部海岸地区に係る課題を整理した。
以降に当地区の魅力創造の課題を示す。

4.1 地区別の課題

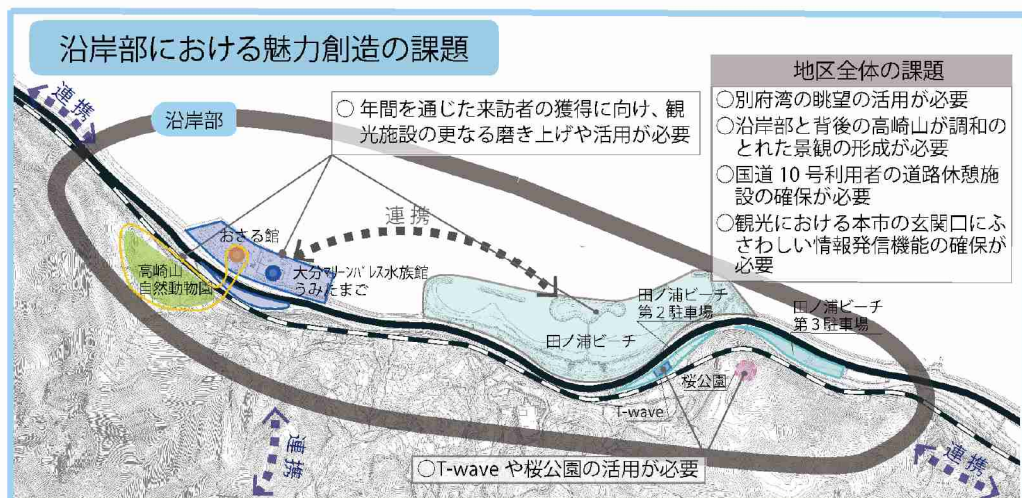
内陸部における魅力創造の課題

- ・森林セラピー（セラピーロード）の活用が必要
- ・地域特産品の田ノ浦びわの活用が必要
- ・柞原八幡宮や大楠などの歴史・文化資産の活用が必要
- ・法規制に配慮した、高崎山周辺の自然環境の保全が必要
- ・自然・文化と調和した良好な景観の形成が必要



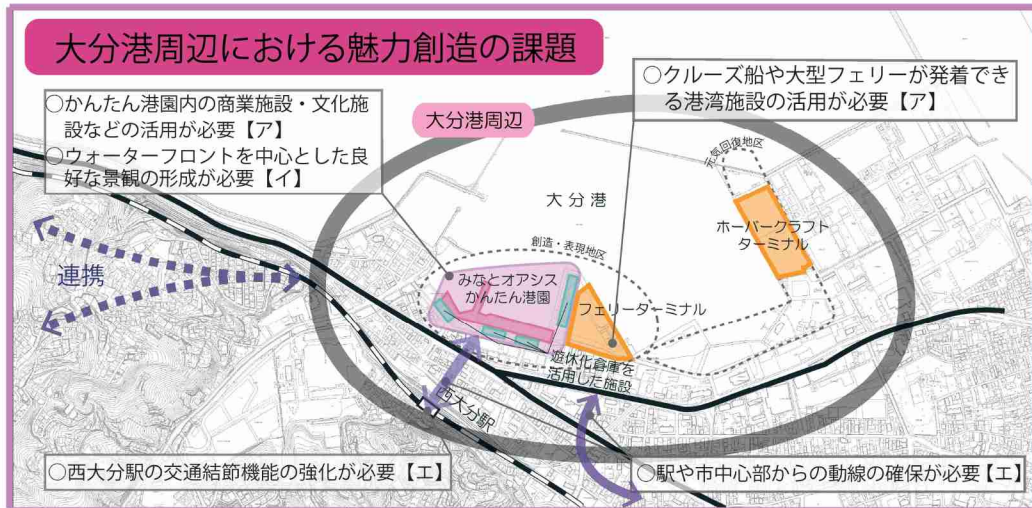
沿岸部における魅力創造の課題

- ・年間を通じた来訪者の獲得に向け、観光施設の更なる磨き上げや活用が必要
- ・別府湾の眺望の活用が必要
- ・T-wave や桜公園の活用が必要
- ・沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観の形成が必要
- ・国道10号利用者の道路休憩施設の確保が必要
- ・観光における本市の玄関口にふさわしい情報発信機能の確保が必要



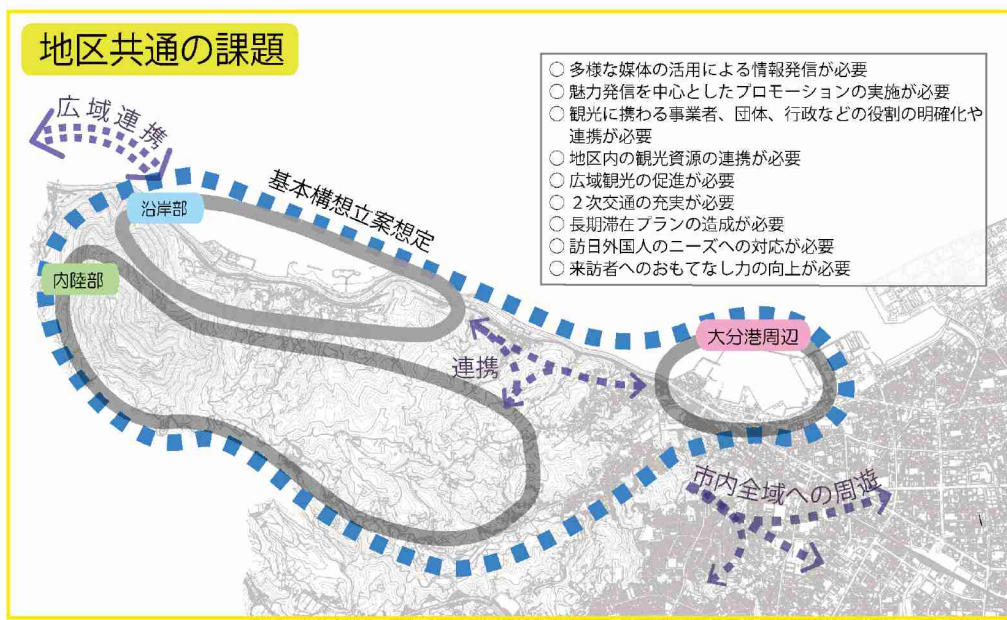
大分港周辺における魅力創造の課題

- ・かんたん港園内の商業施設・文化施設などの活用が必要
- ・クルーズ船や大型フェリーが発着できる港湾施設の活用が必要
- ・ウォーターフロントを中心とした良好な景観の形成が必要
- ・駅や市中心部からの動線の確保が必要
- ・西大分駅の交通結節機能の強化が必要



地区共通の課題

- ・多様な媒体の活用による情報発信が必要
- ・魅力発信を中心としたプロモーションの実施が必要
- ・観光に携わる事業者、団体、行政などの役割の明確化や連携が必要
- ・地区内の観光資源の連携が必要
- ・広域観光の促進が必要
- ・2次交通の充実が必要
- ・長期滞在プランの造成が必要
- ・訪日外国人のニーズへの対応が必要
- ・来訪者へのおもてなし力の向上が必要



4.2 西部海岸地区の魅力創造の課題

4.1 で示した地区別の課題をまとめ、西部海岸地区の課題を以下の5つに整理した。

▼ 西部海岸地区の5つの課題

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 課題【ア】 | 地域資源の磨き上げと活用による賑わいの創出が必要 |
| 課題【イ】 | 地域の特性に応じた良好な景観の形成が必要 |
| 課題【ウ】 | 観光を推進する体制づくりや戦略的な情報発信が必要 |
| 課題【エ】 | 地域資源の連携・周遊の促進や来訪者の長期滞在を促す取組みが必要 |
| 課題【オ】 | 快適な観光空間構築のための来訪者の受入環境の整備が必要 |

課題【ア】 地域資源の磨き上げと活用による賑わいの創出が必要

当地区には、豊かな自然や歴史・文化、観光施設など、豊富な地域資源があり、上位計画(大分市観光戦略プラン)では、これらの「地域資源を活用した観光振興の推進」が掲げられている。しかし、現状では、地域資源を十分に活かしてきていないことから、魅力創造に向けて、地域資源の更なる魅力の磨き上げと活用による賑わいの創出が必要である。

【課題解決のための取組み】

- ・森林セラピー（セラピーロード）の活用が必要
- ・地域特産品の田ノ浦びわの活用が必要
- ・柞原八幡宮や大楠などの歴史・文化資産の活用が必要
- ・年間を通じた来訪者の獲得に向け、観光施設の更なる磨き上げや活用が必要
- ・別府湾の眺望の活用が必要
- ・T-wave や桜公園の活用が必要
- ・かんたん港園内の商業施設・文化施設などの活用が必要
- ・クルーズ船や大型フェリーが発着できる港湾施設の活用が必要

課題【イ】 地域の特性に応じた良好な景観の形成が必要

当地区は、内陸部や沿岸部、大分港周辺でそれぞれ違った景観・法規制があり、上位計画(大分市景観計画)では、「すでにある良好な景観の保全」が掲げられている。また、内陸部では、「自然環境と調和した空間の保全」、沿岸部では「海・山が一体となった風景街道」としての整備、大分港周辺では、「海の玄関口にふさわしい良好な景観の創出」などがそれぞれ上位計画(大分市都市計画マスタープラン)に掲げられている。このため、魅力創造に向けて、地域の特性に応じた良好な景観の形成が必要である。

【課題解決のための取組み】

- ・法規制に配慮した、高崎山周辺の自然環境の保全が必要
- ・自然・文化と調和した良好な景観の形成が必要
- ・沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観の形成が必要
- ・ウォーターフロントを中心とした良好な景観の形成が必要

課題【ウ】 観光を推進する体制づくりや戦略的な情報発信が必要

当地区には、豊かな自然や歴史・文化、観光施設など、豊富な地域資源があり、上位計画(大分市観光戦略プラン)では、観光振興のための方針として、地域資源の魅力についての「情報発信」や観光促進のための「体制づくり」が掲げられている。しかし、現状では、観光に携わる事業者や団体、行政などの連携や調整が不十分であり、また、別府市や由布市と比較しても観光地としての知名度が低い。このため、魅力創造に向けて、戦略的な情報発信や観光を推進する体制づくりが必要である。

【課題解決のための取組み】

- 多様な媒体の活用による情報発信が必要
- 魅力発信を中心としたプロモーションの実施が必要
- 観光に携わる事業者、団体、行政などの役割の明確化や連携が必要

課題【エ】 地域資源の連携・周遊の促進や来訪者の長期滞在を促す取組みが必要

当地区は、豊かな自然や歴史・文化、観光施設など豊富な地域資源があり、上位計画(大分市観光戦略プラン)では、観光振興のための方針として、これらの資源の連携や市内中心部・市内各地との連携、広域連携などが掲げられている。しかし、現状では、地域資源の連携が図られておらず、周遊促進や来訪者の滞在時間を延ばす取組みが不十分であることから、魅力創造に向けて、連携・周遊の促進や来訪者の滞在時間を延ばす(長期滞在)取組みが必要である。

【課題解決のための取組み】

- 駅や市中心部からの動線の確保が必要
- 西大分駅の交通結節機能の強化が必要
- 地区内の観光資源の連携が必要
- 広域観光の促進が必要
- 2次交通の充実が必要
- 長期滞在プランの造成が必要
- 国道10号利用者の道路休憩施設の確保が必要
- 観光における本市の玄関口にふさわしい情報発信機能の確保が必要

課題【オ】 快適な観光空間構築のための来訪者の受入環境の整備が必要

大分市の観光宿泊客数は、経年的に増加傾向であり、上位計画(大分市観光戦略プラン)では、更なる観光振興のための方針として、「インバウンド観光の推進」や来訪者の「受入環境の整備」が掲げられている。しかし、現状では、これらの対応が遅れていることから、魅力創造に向けて、快適な観光空間の構築のための受入環境の整備が必要である。

【課題解決のための取組み】

- 訪日外国人のニーズへの対応が必要
- 来訪者へのおもてなし力の向上が必要

地区別の課題

内陸部における魅力創造の課題

地区全体の課題

- 法規制に配慮した、高崎山周辺の自然環境の保全が必要【イ】
- 自然・文化と調和した良好な景観の形成が必要【イ】

内陸部

- 森林セラピー（セラピーロード）の活用が必要【ア】
- 柞原八幡宮や大桶などの歴史・文化資産の活用が必要【ア】

沿岸部

- 地域特産品の田ノ浦びわの活用が必要【ア】

連携

沿岸部における魅力創造の課題

地区全体の課題

- 別府湾の眺望の活用が必要【ア】
- 沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観の形成が必要【イ】
- 国道10号利用者の道路休憩施設の確保が必要【エ】
- 観光における本市の玄関口にふさわしい情報発信機能の確保が必要【エ】

沿岸部

- 年間を通じた来訪者の獲得に向け、観光施設の更なる磨き上げや活用が必要【ア】

連携

- T-waveや桜公園の活用が必要【ア】

大分港周辺における魅力創造の課題

地区全体の課題

- クルーズ船や大型フェリーが発着できる港湾施設の活用が必要【ア】

大分港周辺

- かんたん港園内の商業施設・文化施設などの活用が必要【ア】
- ウォーターフロントを中心とした良好な景観の形成が必要【イ】

連携

- 西大分駅の交通結節機能の強化が必要【エ】
- 駅や市中心部からの動線の確保が必要【エ】

地区共通の課題

- 多様な媒体の活用による情報発信が必要【ウ】
- 魅力発信を中心としたプロモーションの実施が必要【ウ】
- 観光に携わる事業者、団体、行政などの役割の明確化や連携が必要【ウ】
- 地区内の観光資源の連携が必要【エ】
- 広域観光の促進が必要【エ】
- 2次交通の充実が必要【エ】
- 長期滞在プランの造成が必要【エ】
- 訪日外国人のニーズへの対応が必要【オ】
- 来訪者へのおもてなし力の向上が必要【オ】

※文末の【ア～オ】は、「西部海岸地区の5つの課題」との対応関係を示しています。

西部海岸地区の5つの課題

- 課題【ア】**
地域資源の磨き上げと活用による賑わいの創出が必要
- 課題【イ】**
地域の特性に応じた良好な景観の形成が必要
- 課題【ウ】**
観光を推進する体制づくりや戦略的な情報発信が必要
- 課題【エ】**
地域資源の連携・周遊の促進や来訪者の長期滞在を促す取り組みが必要
- 課題【オ】**
快適な観光空間構築のための来訪者の受入環境の整備が必要